

水稲直播栽培におけるPythium属菌による苗の立枯症

福島県農業試験場病理昆虫部・平成6～10年度春夏作試験成績概要

1 部門名 水稲－水稲－水稲直播・病虫害防除 01-01-75230000

2 要 旨

水稲の直播栽培における、苗立ち率低下の要因について病害の面から検討を行った。

(1) 乾田・湛水直播栽培ともに、苗立ち率低下の一要因として立枯症状苗の関与が認められた。

(2) 福島県内各地の直播ほ場から採取した立枯症状苗から菌を分離したところ、Pythium属菌などの糸状菌が多く分離された。分離菌の病原性を接種により検討したところ、Pythium属菌に病原性が認められ、接種苗は立枯症状を示した。病原性の強い菌は、乾田直播にくらべて湛水直播で多く分離された。

(3) 湛水直播におけるPythium属菌による苗の立枯症の発生は、播種後の気温が5～10℃で多くなる傾向があった。

(4) 湛水直播におけるPythium属菌による苗の立枯症に対して、各種薬剤を過酸化カルシウム剤に混和して粉に粉衣した場合の防除効果を検討したところ、現在農薬登録のあるヒドロキシイソキサゾール・メタラキシル粉剤の防除効果が高かった。

以上のことから、直播栽培における苗立ち率低下の一要因としてPythium属菌による苗の立枯症の関与が明らかとなった。しかし、湛水直播栽培における苗立ち率低下には、不発芽等の他の要因も大きく関わっていることから、病害防除を含めた総合的な対策が必要と考えられる。